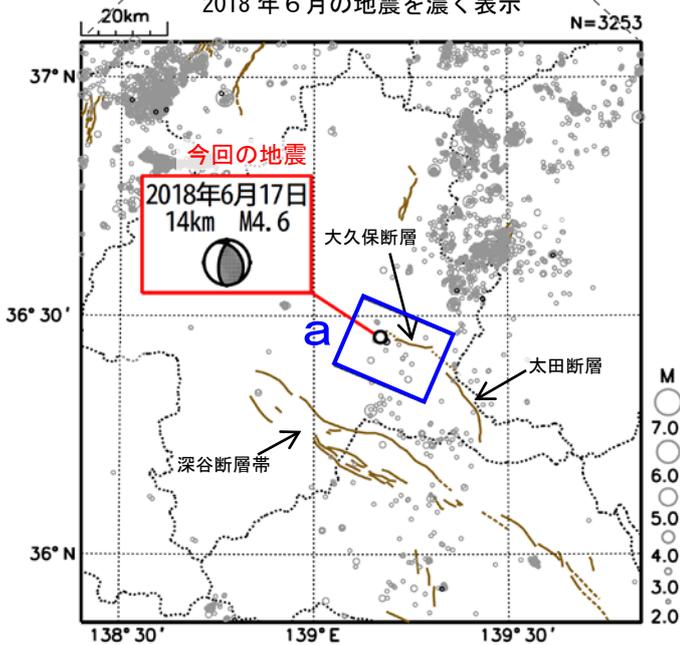


# 6月17日 群馬県南部の地震

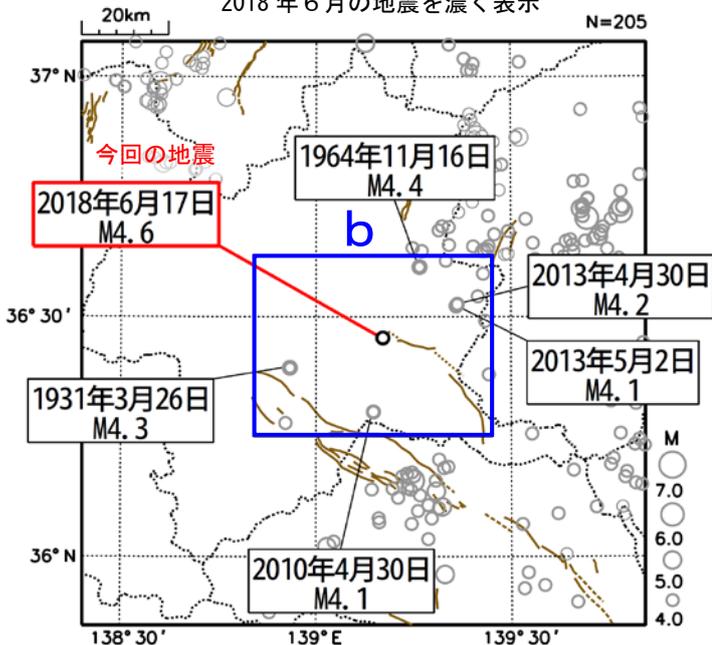


震央分布図  
(1997年10月1日～2018年6月30日、  
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
2018年6月の地震を濃く表示



図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

震央分布図  
(1923年1月1日～2018年6月30日、  
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$ )  
2018年6月の地震を濃く表示

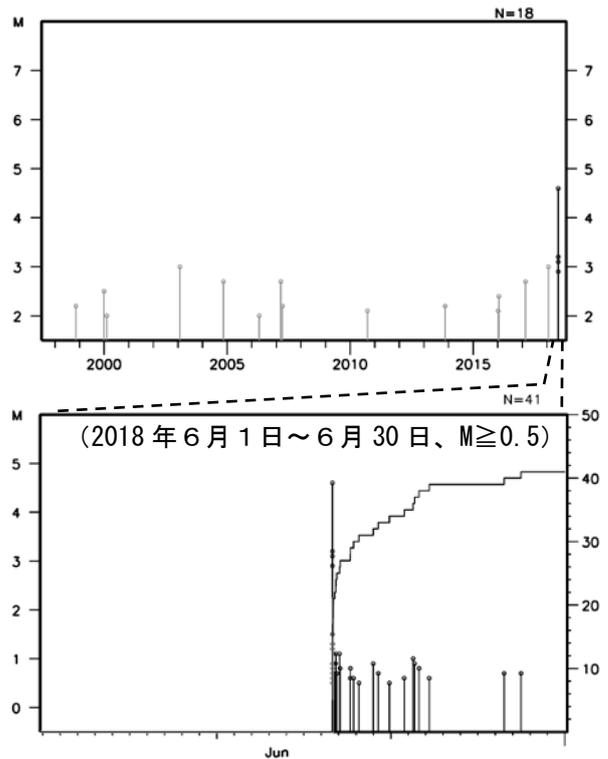


2018年6月17日15時27分に群馬県南部の深さ14kmでM4.6の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)は、M2～M3程度の微小な地震が時々発生しているものの、M4.0以上の地震は今回が初めてである。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M4程度の地震がまれに発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

